NEWS RELEASE

株式会社 大広 広報局広報部
https://www.daiko.co.jp/

2026 年(令和 8 年)11 月26日

社会のアクセシビリティを「楽しさ」へ拡張する「FUNclusion アクセシビリティ部」を発足

～第1弾としてシネマ・チュプキ・タバタと連携。視覚障害当事者のクオリティコントロールと共に映画『OiBokkeShi 99 歳の看板俳優』の「体験を増幅させる音声描写」を制作、12 月 5 日に特別上映～

株式会社大広(本社:東京都港区、代表取締役社長:泉恭雄、以下「大広」)は、世の中のさまざまなアクセシビリティ(バリアフリー対応等)にクリエイティブな「楽しさ(FUN)」を掛け合わせ、新しい価値へアップデートするプロジェクト「FUNclusion アクセシビリティ部」を発足いたしました。
本部活動の第 1 弾として、2026 年 12 月 5 日(土)に開催されるイベント「FUNclusion Week」において、日本初のユニバーサルシネマ「シネマ・チュプキ・タバタ(Chupki)」監修のもと、映画『OiBokkeShi 99 歳の看板俳優』のバリアフリー音声描写／Audio Description を制作し、発信する取り組みを実施いたします。









<お問い合わせ> 株式会社 大広 広報局 広報部
〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-8111 MAIL : info@daiko.co.jp

■「FUNclusion アクセシビリティ部」発足の背景と目指す未来

従来のアクセシビリティは「配慮」や「補完」としての側面が強く意識されてきました。しかし大広では、それらを「体験の楽しさを増幅させるクリエイティブな要素」として捉え直すアプローチ（＝FUNclusion）を提唱します。「FUNclusion アクセシビリティ部」では、障害の有無にかかわらず、誰もがエンターテインメントや情報を深めることができる社会の実現を目指します。将来的には映画やイベントにとどまらず、「CM やあらゆる広告物に当たり前にクリエイティブな音声描写がつく世界」の創出に向け、さまざまな企業・パートナーとともに挑戦を続けてまいります。

■ 第 1 弾取り組み概要： 映画『OiBokkeShi 99 歳の看板俳優』 × シネマ・チュプキ・タバタ

第 1 弾となる本企画では、大広の若手社員をはじめ、広告関係者、若手デザイナー、映画関係者、メディア関係者らが参加する音声描写／Audio Description 制作ワークショップ（WS）を行いました。シネマ・チュプキ・タバタの指導・監修のもと、制作過程において視覚障害当事者のクオリティコントロールとフィードバックを実施。状況説明にとどまらない「作品の魅力をより深く味わえる音声描写／Audio Description」を作り上げ、12/5 のイベント当日に特別上映いたします。







・開催イベント：「FUNclusion Week2026」内企画
・上映作品： 映画『OiBokkeShi 99 歳の看板俳優』
・上映日：2026 年 12 月 5 日(土)15:15～17:34
※上映後 17:34～18:04 アフタートーク実施
登壇：平塚千穂子氏[シネマ・チュプキ・タバタ 代表]
石井健介氏[ブラインドコミュニケーター／音声描写 クオリティコントロール担当]
根上小夏・桂志織[大広 FUNclusion アクセシビリティ部／音声描写制作])
・会場：シモキタ - エキマエ - シネマ『K2』(東京都世田谷区北沢 2-21-22 tefu lounge 2F)
・チケット販売：シモキタ - エキマエ - シネマ『K2』公式サイトにて好評販売中
・詳細・チケット購入 URL： https://k2-cinema.com/event/title/779
・協力・監修： シネマ・チュプキ・タバタ(Chupki)、MOTION GALLERY
・ワークショップ参加者： 大広若手社員、若手デザイナー、若手映画監督 等

＜上記に関するお問い合わせ＞ 株式会社 大広 広報局 広報部
〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL：03-4346-8111 MAIL：info@daiko.co.jp

■ 映画『OiBokkeShi 99 歳の看板俳優』

介護福祉士であり演劇人の菅原直樹が、岡山県和気町で高齢者や介護者と共に立ち上げた劇団「OiBokkeShi（オイボッケシ）」。妻の認知症介護の絶望から 90 代で看板俳優となった岡田忠雄さんの 10 年を追ったドキュメンタリー映画。









出演：岡田忠雄 菅原直樹「老いと演劇」OiBokkeShi ほか

監督・撮影・編集：大野諭史

撮影：小野祐一 黒瀬輝男 半田幹男 映像技術：吉永順平 MA：寺坂昭正

プロデューサー：山下洋平 武田知也 特別協力：「老いと演劇」OiBokkeShi

宣伝写真：hi hoo farm ビジュアルデザイン：加藤賢策（LABORATORIES）

配給：MOTIF 2026 年／日本／135 分／DCP／カラー／ビスタ／ステレオ

© 映画「OiBokkeShi ～99 歳の看板俳優～」製作委員会（KSB 瀬戸内海放送・一般社団法人ベンチ）

＜上記に関するお問い合わせ＞ 株式会社 大広 広報局 広報部
〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL：03-4346-8111 MAIL：info@daiko.co.jp

■ 本取り組みに対する関係者コメント

【シネマ・チュプキ・タバタ 代表 平塚千穂子様 コメント】



「アクセシビリティを配慮ではなく“クリエイティブな楽しさ”として捉える FUNclusion に共感いたしました。分野の異なる様々なクリエイターと当事者との共創により、作品の魅力をさらに引き出す素晴らしい音声描写が生まれることに、ワクワクしています。」

【映画『OiBokkeShi 99 歳の看板俳優』 監督 大野諭史様 コメント】



「99歳まで舞台に生き続けた岡田さんの姿をより多くの人に見てもらえる素晴らしい機会を頂けて、本当に嬉しく思います。OiBokkeShi の演劇では、高齢者や障害のある人、介護者など様々な人たちが演じることを楽しんでいます。その表現が今回の取り組みによって、さらに豊かに表され、新たな可能性につながることがとても楽しみです。」

【ブラインドコミュニケーター石井健介様 コメント】



「音声描写/Audio Description は、目が見えない/見えづらい人が映画を楽しむためのアクセシビリティでありながら、映画に残されたクリエイティビティの余白。ディスクリプトライター、視覚障害当事者のクオリティコントロール、そこに監督やプロデューサーも加わり、この場面の何をどう言葉にして伝えるのかを、ああでもないこうでもないと作り上げていく過程は最高に楽しく、映画をより深く観賞するための営みです。今回、様々な方が AD 制作に加わってくれることで、新たな扉が開くと確信しています。」

【株式会社大広 プロジェクト担当者】

「配慮から“楽しさの増幅”へ。アクセシビリティは制約ではなく、表現をより豊かにする新しいクリエイティブの領域と考えています。若いクリエイターとともに学び、将来的には CM や Web 広告など広告業界全体へこの視点を広げていきたいと思います。」

■ 今後の展望：エコシステムの構築と広告領域への波及

本取り組みで制作された音声描写／Audio Description・ろう者/難聴者向けの字幕データは、今後の他地域・他イベントでの二次利用や、シネマ・チュプキ・タバタでの展開など、継続的な作品のバリアフリー資産として活用を進めてまいります。大広は今後も、若手監督・クリエイターへのノウハウ還元を行いながら、年間を通じて様々なコンテンツや CM 広告への音声描写／Audio Description 導入を推進し、アクセシビリティの新しい標準化を目指します。

【本件・取材に関するお問い合わせ先】

株式会社大広　Mail：funclusion@daiko.co.jp

＜上記に関するお問い合わせ＞　株式会社 大広 広報局 広報部
〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL：03-4346-8111 MAIL : info@daiko.co.jp

【添付素材(メディア向け提供写真・画像)】

1. ワークショップ風景写真(制作・視覚障害当事者のクオリティチェックの様子)
2. 映画『OiBokkeShi 99 歳の看板俳優』メインビジュアル
3. シネマ・チュプキ・タバタ ロゴおよび館内写真

【 CINEMA Chupki TABATA 】






見えない人も、聴こえない人も、車椅子の人も、小さな子どもを連れた人もどんな人も一緒に映画を楽しめる 座席20席の小さな映画館。全ての映画に日本語字幕とイヤホン音声ガイドをつけて、新旧問わず選りすぐりの映画を、ユニバーサル上映している、日本唯一のユニバーサルシアターです。

【 MOTION GALLERY 】



MOTION GALLERY は、共感の輪をつなぎクリエイティブな活動の資金調達を実現すると共にアイデアを形にし、そして届けるまでを一貫してサポートする国内最大級にして唯一のクラウドファンディングプラットフォームです。日本のクラウドファンディングの先駆けとして 2011 年にスタートし、以来 100 億円を超えるファンディングをサポートしています。プレゼンターのアイデアとコレクターの共感。2 つのクリエイティビティがつながる事で、「その日、世界は少しだけ変わるかも知れない。」

【 シモキタ - エキマエ - シネマ『K2』】

下北沢駅直結の複合施設「テフラウンジ」内のミニシアター。「多様な映画文化の拠点」として、インディペンデント作品やドキュメンタリーを中心に上映するほか、地域や社会とつながる多彩なイベントを展開しています。(運営:株式会社 MOTION GALLERY)

＜上記に関するお問い合わせ＞　株式会社 大広 広報局 広報部
〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-8111 MAIL : info@daiko.co.jp

【FUNclusion Week 2026 概要】

FUNclusion Week



FUNclusion(ファンクルージョン)は、FUN(楽しい)×INCLUSION(包摂)をあわせたことば。
楽しみながら、違いを感じ、まざりあう。そんな体験を、多様な価値観が混ざりあう下北沢を舞台に、12 月の障害者週間の週末土曜に、お届けします！アートも、フードも、映画も、本も、ワークショップも。だれもが楽しみ、まざりあう週末。下北沢で「FUNclusion」を体験しよう！

■イベントタイトル: FUNclusion Week 2026(ファンクルージョンウィーク)
■日程 ：2026 年 12 月 5 日(土)
■会場: BONUS TRACK ほか 主催: 株式会社 大広
■内容: アート展示、トークイベント、ワークショップ、映画祭ほか
■公式サイト: https://funclusion.jp/

【株式会社 大広 会社概要】

DAIKO

私たち大広は、「顧客と社会に愛され続けるブランドを 企業の志と共につくる」をミッションとし、「顧客基盤の持続性」と「社会の持続性」をともに見据えたブランディングを支援します。
私たちが大切にしているのは、企業と、顧客と、社会をつなぐ真ん中にある価値、「顧客価値」です。この「顧客価値」を導き出すのが「Deep Dialogue デザイン(深層対話に基づく、マーケティング＆顧客体験の設計思想)」です。 顧客や社会との深い対話を通じて顧客価値を発見し、そこを起点にフルファネル統合支援を通じて新規顧客の獲得から長期的な顧客基盤の構築までをサポートします。
顧客、企業、社会をつなぐコミュニケーションをデザインすることで、持続的なブランディングのパートナーとしてクライアント企業に伴走します。
株式会社大広 公式サイト https://www.daiko.co.jp

＜上記に関するお問い合わせ＞ 株式会社 大広 広報局 広報部
〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-8111 MAIL : info@daiko.co.jp